

すべての自動改札機でデジタル乗車券に対応

～鉄道事業者として全国初！ 全改札通路でクレカ・QRが利用可能に～

株式会社ゆりかもめ（本社：東京都江東区、代表取締役社長 安部 文洋）は、2026年5月28日（木）夜間から順次、各駅の自動改札機を更新し、2026年9月中旬までに、すべての改札機をデジタル乗車券対応といたします。

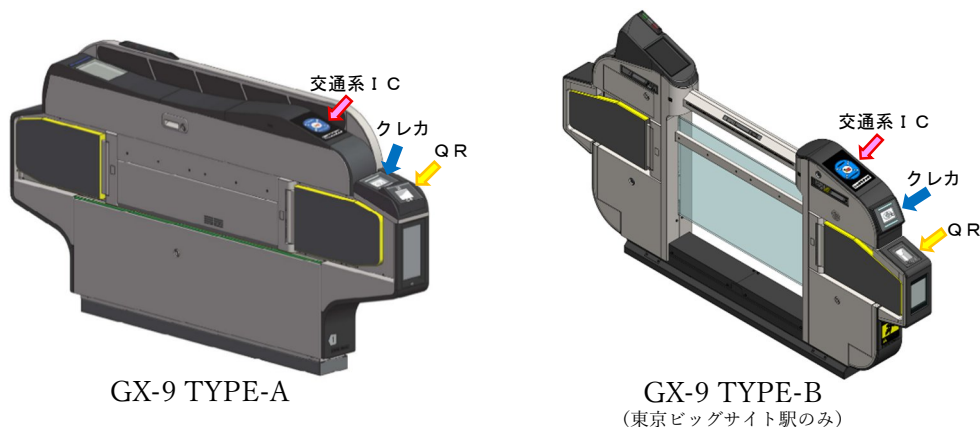
また、2026年7月中旬には、現在各駅の券売機で販売している磁気乗車券について、QRコードを印字した乗車券へ切り替えます。

1. デジタル乗車券対応改札機の全通路展開

自動改札機の更新に伴い、ゆりかもめのすべての改札通路において、クレジットカード等によるタッチ決済乗車（以下「クレカ乗車^{*1}」）および、QRコード^{*2}を用いた乗車券（以下「QR乗車券」）が利用可能になります。ICカードをお持ちでないお客さまや訪日外国人の方、沿線施設やイベントの特典付きでお得に利用したい方など、より多くのお客さまにとって、便利にご利用いただける環境となります。



自動改札機更新後イメージ図（東京ビッグサイト駅）

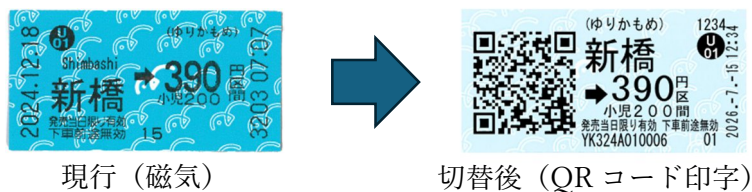


導入予定自動改札機（日本信号株式会社製）

2. 磁気乗車券から QR 乗車券への切替え

各駅の券売機で発売している普通乗車券について、現在の磁気乗車券から QR コードを印字した乗車券へ切り替えます。これにより、自動改札機に投入する方式から、QR リーダーにかざして通過する方式へと変わります。

今回の切り替えにより、これまでゆりかもめの券売機で取り扱っていた磁気乗車券は、すべて発売終了となります。なお、発売終了前にご購入いただいた各種磁気乗車券については、有効期限までご利用いただけます。



乗車券の切替えイメージ

また、スマートフォンでご利用いただく「QR モバイルチケット」もご用意しております。

事前に購入可能で、物理的なチケットが不要なほか、各種キャッシュレス決済にも対応した、より利便性の高いサービスとなっていますので、ぜひご利用ください。



QR 乗車券へ移行する目的

•お客さまサービスの向上

投入機構が不要となることで、券づまり等のトラブルを低減し、円滑な改札利用が可能となります。

•環境負荷の低減

リサイクルが難しい金属を含む用紙から、リサイクルが容易な用紙への切り替え、または繰り返し利用が可能な媒体の活用により、環境負荷の低減を図ります。

•持続可能な設備・システムへの移行

磁気券対応機構に比べ構造がシンプルなデジタル対応機器への移行を進めることで、将来にわたる保守・更新の効率化を図ります。

3. 今後のスケジュール（予定）

- 2026年5月28日（木）夜間 ～ 2026年9月中旬

自動改札機をデジタル乗車券対応機へ順次更新

- 2026年7月中旬

各駅券売機で発売中の普通乗車券について、磁気乗車券からQR乗車券へ切替え

ゆりかもめは、今後もデジタル技術を活用し、臨海地域をはじめとする沿線の観光スポット等への、便利で快適なアクセスの確保、環境負荷の低減、持続可能な交通インフラの構築を目指してまいります。

※1 クレカ乗車は、三井住友カード株式会社が提供する公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用したサービスです。

※2 QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

【お問合せ先】

株式会社ゆりかもめ 運輸部営業管理課 電話：03-3529-7782

ゆりかもめ おススメ 3つの乗り方

交通系ICカード（PASMO等）

全国の電車やバスがご利用いただけるICカード乗車券です。

購入方法：駅券売機、定期券発売所 ※現金のみ

モバイルPASMOも便利です。

取扱券種：①都度利用

②定期券（通勤、通学、福祉割引）

③フリー券（24時間券）



モバイルPASMO

クレカ乗車

お手持ちのタッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）や、同カードが設定されたスマートフォン等を、改札機の読取りリーダーにかざすことでご乗車いただけます。

購入方法：不要（事前準備は何もありません）

取扱券種：①都度利用 ※大人のみ

②一日上限（一日乗車券相当）



ご利用方法・FAQ

QRモバイルチケット

スマートフォン等で事前に購入いただき、スマートフォンに表示されるQRコードを、対応改札機のQRリーダーにかざすことで、ご乗車いただけるデジタル乗車券です。

購入方法：販売サイト ※各種決済手段に対応

取扱券種：①普通乗車券

②定期券（通勤、通学（実習用含）、福祉割引）

※他社連絡定期券はございません

③フリー券（一日乗車券、24時間券）

